

前期学校評価のまとめ

文責…教頭

◎ 課題について、いくつか抽出したもの（考察）

○ 教職員アンケートより

1 会議等の時間短縮について

- ・ 職員会議は、学校運営上大変重要なものであるが、多忙な業務に追われる中で、時間短縮も念頭に置きながら効率的に進めていかなければならない。提案者は、内容検討が不十分なものにならないように努める、ポイントを絞って追加説明程度にする、また、会議で変更された点や反省点については、次年度会議での検討がスムーズに進められるように、データ修正を早めに行い、保存しておく。司会者は、復唱をなくす進め方に配慮する。
- ・ 内容によっては、デスクネットに載せて、終礼などで一言、確認程度に済ませる。デスクネットの積極的活用により、教職員の情報交換が盛んになり、終礼の時間短縮にもつながる。
- ・ 毎朝の朝礼は、勤務開始時刻に全職員が顔合わせをし、一日のスタートを切る場ともなっている。児童の学級での活動にも配慮し、朝礼での連絡は極力短め（なくす）ようにし、教室に向かうようにする。

2 7月の部会について（行事の見直しについて）

- ・ 7月は学年部会ではなく、学級懇談会にしたらどうかという意見もあった。また、8月の前期学校評価を検討する職員会議では、救急法講習会など立て込んだ日程の中で、部会そのものを実施する時間確保が難しいという声もあった。学級懇談会については、保護者から学級経営についての意見をいただいたり、担任と保護者、あるいは保護者同士の情報交換の場ともなったりすることも考慮し、7月の部会の持ち方については、次年度の年間予定作成における検討課題とする。

3 生活指導について

- ・ 特に、「あいさつ」と「掃除」について、たくさんの意見が出された。教師側としても、この2点を、引き続き重点的に指導していきたい。「教師自ら、行動する」「粘り強く指導する」などの意識を持って、子どもにしっかり向き合い、高めさせたい。

4 エコの意識について

- ・ 大規模校であるが故、電気代・水道代など相当かかっている。ただ、一人一人の心がけで、無駄をなくすことはできる。例えば、誰もいない教室の蛍光灯が、全灯していることもある。教室から移動する時には必ず消す。例えば、裏面印刷で済ませられるものは、再利用するなど、わずかな無駄もなくす努力をしたい。

○ 児童アンケートより

1 進んで発言について

- ・ 本年度本校では、市教委から「学びの質を高める授業づくり推進事業」の指定を受け、子ども達が主体的に考え、共に学び合う授業を目指して、研究を進めている。ペアやグループでの話し合い活動を積極的に取り入れたり、言語活動の充実を目指した授業作りの工夫を行ったりするなど、さらに研究を深め、進んで自己表現ができる児童の育成を目指していきたい。

2 家庭学習について

- ・ 低・中・高学年それぞれの発達段階における、望ましい家庭学習の時間設定をしているが、まだ十分な定着が図られている状況とは言えない。担任として、子どもに与える学習課題の内容を工夫したり、課題解決のための手立てを示したりするなどの配慮も必要である。また、本校では、各学期1回家庭学習強化週間を設け、家庭の協力を得ながら、家庭学習の習慣化を目指す取り組みをしている。保護者にも、この強化週間においては、宿題へのチェック・間違いをその場で直させる等の積極的な協力を得ながら、子どもの学習課題に向かう意欲喚起にもつながるような取り組みを進めていきたい。

○ 保護者アンケートより

1 個に応じた学習指導について

- ・ 保護者は一人一人を大切にしたい授業で、児童の学力向上を願っている。担任も、その願いは同じで、児童の個性を生かした指導を心がけている。算数の授業などでTTの授業形態をとり、学習の定着を図ったり、休み時間や放課後などを利用して個別指導を行い、基礎基本の定着に努めたりしている。これらの取り組みを家庭へも情報発信し、理解を得ていきたい。

2 施設・設備、学習環境の整備について

- ・ 施設が古いことはどうしようもないが、市教委訪問の折、本校は施設・設備を大切にしていると、お褒めの言葉をいただいた。古い分、修理必要箇所も度々出てくるが、なるべく早く対応したい。また、定期的に安全点検を行い、危険箇所については事前に処置をして、教育環境を整えている。子どもが、自分の学びの場を大切に使うこと（机の使い方、一つにしても）も意識させたい。
- ・ エアコンの設置については、市への要望事項として盛り込む予定である。